

# 民間人2000人以上死亡

## ロシア戦死者498人

【モスクワ、イスタンプール時事】ロシア軍のウクライナ本格侵攻開始から1週間がたち、死者数の増加が顕著になっています。ウクライナ非常事態庁は2日、「民間人2000人以上が死亡した」と明らかにする一方、ロシア国防省はロシア側の死者数について498人と発表しました。ロシア政府の説明によると、3日には双方の代表団による停戦交渉が予定されている

ますが、歩み寄り困難で、戦況の泥沼化への懸念が一段と高まっています。

2月24日の侵攻開始

以降、隣国ポーランドなど国外に逃れたウクライナ難民は100万人を超えました。グラウンディ国連難民高等弁

務官はツイッターで、ウクライナ国内にはさらに多くの避難民がいると指摘し、「命を救う人道支援のため、武

器を置く時だ」と訴えました。

AFP通信は3日、

ロシア軍がウクライナ南部ヘルソンを占拠したと報じました。事実なら、初の主要都市陥落となります。地元当局者によると、ヘルソン全域に「占領者」がおり、混乱の中で商店に対する略奪行為が横行しているといっています。

北東部ハリコフも連日の激しい攻撃で陥落の危機に直面し、ロイター通信によれば、2日から3日にかけて民間人34人が死亡しました。ロシア国防省は3日、ハリコフ近郊の町

バラクレヤを「解放した」と主張しました。

首都キエフ一帯では、ロシア軍がテレビ塔や発電所などインフラ施設への砲撃を繰り返しています。ロシア国防省は3日、キエフにある放送施設を攻撃し、破壊したと発表しました。

ロシアとウクライナの停戦交渉は2月28日に最初の協議が行われ、2回目の交渉が3日にベラルーシ西部プロレスト州で開かれる見通し。ただ、ウクライナはロシア側の攻撃強化に反発しており、交渉の行方は不透明です。